



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マネースクウェアHD
コード番号 8728 URL <http://www.m2hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 相葉 斉

問合せ先責任者 (役職名) 総務・IR部長

(氏名) 北澤 一夫

TEL 03-3470-5077

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,096	15.0	1,836	13.8	1,835	14.1	1,211	18.1
27年3月期第3四半期	3,561	—	1,613	—	1,608	—	1,025	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,211百万円 (17.7%) 27年3月期第3四半期 1,029百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	112.61	109.94
27年3月期第3四半期	95.63	92.47

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
28年3月期第3四半期	59,105	7,309	12.3	669.84		
27年3月期	57,850	6,698	11.6	620.97		

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 7,298百万円 27年3月期 6,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年3月期の配当予想につきましては、業績予想を開示していないため未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

当社グループの業績は、外国為替市場や株式市場などの相場動向や市場流動性などのマーケット環境、ならびに、国内外の経済環境などに大きく左右され、これらの複合的な影響などについて正確な予測を行うことは困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。そのため、その将来の予測を補完する手段として、当社グループは、業績予想の開示にかわる代替手段として、顧客口座数、預り資産残高、ならびに、営業収益の3項目について、TDnet(適時開示情報伝達システム)を通じて月次ベースで開示しております。また、業績に大きく影響を与える営業費用の動向については、本決算を含む四半期毎に開催している決算説明会に用いる資料に次四半期における予測数値をレンジで補足すると同時に、この資料については開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
 (注)詳細は、添付資料4ページ「2. (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	10,918,200 株	27年3月期	10,918,200 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	22,200 株	27年3月期	148,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	10,759,072 株	27年3月期3Q	10,724,589 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、「3. 平成28年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、連結業績予想の開示を行っていませんが、それに代わる代替手段として、月次ベースで顧客口座数、預り資産残高、並びに、営業収益について、TDnet(適時開示情報伝達システム)を通じて開示しております。また、業績に大きく影響を与える営業費用の動向については、本決算を含む四半期毎に開催している決算説明会に用いる資料に、次四半期における予測数値をレンジで補足すると同時に、この資料については開示いたします。

●配当予想金額に関して

平成28年3月期配当予想については、業績予想を開示していないため未定としておりますが、配当性向25%程度を基本方針として、その時々業績動向や将来見通し等を総合的に勘案して取り決めたいと考えております。なお、配当予想額については、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

●投資家向け説明会、説明資料の入手方法

当社グループは、以下のとおり、投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料・動画等については、開催後速やかに当社グループホームページに掲載する予定です。

☆☆☆ 平成28年2月18日(木) …… 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

★★★ 平成28年2月26日(金)27日(土) …… 個人投資家向け会社説明会 (株式会社マジカルポケット主催:IRフォーラム 2016大阪)

また、当社グループでは、上記に限らず個人投資家の皆さま向けに事業や業績に関する説明会やIRフォーラム等の場に適宜参加する予定です。今後の日程等につきましても、当社グループホームページ等をご確認ください。随時内容を更新してまいります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、中国経済の減速が鮮明となる中、原油安がさらに進行、世界経済の先行き不透明感が広がりましたが、総じて緩やかな回復基調は維持しました。その中であって外国為替市場は、ECBドラギ総裁の追加緩和を示唆する発言や、イエレンFRB議長が年内利上げの可能性を示唆したことにより、11月上旬に米ドル/円相場は123円台まで円が下落しました。しかし、12月のFOMCで利上げ決定後、原油価格の低迷が続くなか、リスク回避の動きが続き、年末にかけて120円台まで円高が進行しました。その他通貨についても、概ね対円では円高が進みました。

このような状況下においての当社グループの取組みに目を向けますと、外国為替証拠金取引業関連を営む株式会社マネースクウェア・ジャパンにおきましては、引き続き「全国セミナープロジェクト2015」や「M2 JFXアカデミア」を中心とした投資教育の充実や、「M2 J高金利通貨普及プロジェクト」のコンテンツの充実に力を注ぎ、資産運用ニーズの高い顧客を重点的に獲得し続けることができた結果、顧客口座数は前年同期末の79,303口座から92,877口座（前年同期比17.1%増）へ拡大、顧客預り残高は創業来最高額を更新しております。また、12月には「くりっく株365」の取引資格および清算資格を取得、日本証券業協会に加入し、「M2 J-日経225証拠金取引」の取扱いを開始しました。

金融商品取引法に基づく第二種金融商品取引業、投資助言・代理業登録を受けた株式会社M2・インベストメント・アドバイザーにおきましては、10月にFXファンド「トラリピFXファンド」の販売を開始しました。

英国を拠点とする海外子会社であるMONEY SQUARE EUROPE LIMITEDにおきましては、10月に英国のFCA（金融行為規制機構）のライセンスを取得し、海外投資家向けファンドの企画・販売の準備を行っています。

米国を拠点とする海外子会社であるMONEY SQUARE INTERNATIONAL, INC.におきましては、海外の外国為替証拠金取引等に関するリサーチ業務の他、海外投資事業の展開に向けて情報収集にあたっております。

業績面に関しては、8月下旬の上海株を発端とする世界的な株価の急落と、それを受けた形で米ドル/円相場をはじめ対円の外国為替相場が軒並み急落したことによる投資マインドの冷え込みが当第3四半期連結会計期間にも影響し、取引高は前年同期に比べ軟調に推移したものの、「全国セミナープロジェクト2015」をはじめとする投資教育を引き続き強化し、「トラリピ・マラソン」リリースによる視覚的な取引の活性化、さらには、「M2 J高金利通貨普及プロジェクト」による高金利通貨の運用戦略の施策およびその通貨国に関する書籍・番組制作等のブランディング施策が奏功し、当社グループの当第3四半期連結累計期間の営業収益は4,096,808千円（前年同期比15.0%増）となりました。営業費用に関しては、「M2 J高金利通貨普及プロジェクト」や書籍・番組制作等のプロモーション費用の増加のほか、「M2 J-日経225証拠金取引」開始に伴うシステム関連費用や日本証券業協会への拠出金等の発生により2,260,015千円（前年同期比16.0%増）となり、営業利益は1,836,793千円（前年同期比13.8%増）となりました。営業外収益は受取利息や未払配当金除斥益、前連結会計年度における純粋持株会社体制移行に伴う法人税等の還付加算金等の計上により4,313千円（前年同期比104.4%増）、営業外費用は支払利息や自己株式の取得にかかる支払手数料等の計上により5,764千円（前年同期比18.3%減）となった結果、経常利益は1,835,342千円（前年同期比14.1%増）となりました。特別損益項目としては、「M2 J-日経225証拠金取引」を開始したことに伴い金融商品取引責任準備金繰入れ0千円を特別損失として計上し、税金等調整前四半期純利益は1,835,341千円（前年同期比14.1%増）となり、法人税等合計として623,713千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,211,628千円（前年同期比18.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

前連結会計年度末から当第3四半期連結会計期間末までの財政状態の主な変動といたしましては、総資産については、前連結会計年度末と比べて1,254,241千円増加し、59,105,168千円となりました。これは主に、流動資産のうち外国為替取引評価勘定（流動資産）が786,924千円減少したものの、現金及び預金が1,574,439千円、分別管理信託が563,055千円増加したためであります。

負債総額は、前連結会計年度末と比べて643,352千円増加し、51,795,673千円となりました。これは主に、流動負債のうち顧客預り勘定が918,771千円、外国為替取引評価勘定（流動負債）が250,244千円、短期借入金が増加し、未払法人税等が560,675千円、未払金が92,959千円、1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

純資産額は、前連結会計年度末と比べて610,889千円増加し、7,309,494千円となりました。これは主に、その他資本剰余金が役員員のストック・オプションの行使による自己株式の処分により169,376千円減少したもののその他利益剰余金から71,126千円振り替えたことにより98,249千円の減少となり、その他利益剰余金については剰余金の配当が430,792千円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,211,628千円計上したことにより709,710千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、外国為替市場や株式市場などの相場動向や市場流動性などのマーケット環境、ならびに、国内外の経済環境などに大きく左右され、これらの複合的な影響などについて正確な予測を行うことは困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。前連結会計年度から当連結会計年度に関しても、各月においてボラティリティの高低が様々であり、そのため、当社グループの業績に関して将来の予測を行う際は、十分に考慮される必要があります。なお、その将来の予測を補完する手段として、当社グループは、業績予想の開示にかわる代替手段として、顧客口座数、預り資産残高、ならびに、営業収益の3項目について、TDnet（適時開示情報伝達システム）を通じて月次ベースで開示しております。また、業績に大きく影響を与える営業費用の動向については、本決算を含む四半期毎に開催している決算説明会に用いる資料に次四半期における予測数値をレンジで補足すると同時に、この資料については開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、当社はMONEY SQUARE EUROPE LIMITEDを、および当社の100%子会社である株式会社M2・インベストメント・アドバイザーは合同会社M2GP2をそれぞれの100%子会社として設立し、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めて四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,323,836	4,898,276
分別管理信託	52,370,021	52,933,077
外国為替取引評価勘定	786,924	-
前払費用	71,358	153,086
繰延税金資産	60,978	28,792
その他	253,205	95,062
流動資産合計	56,866,326	58,108,295
固定資産		
有形固定資産	317,965	276,195
無形固定資産	422,145	393,842
投資その他の資産		
差入保証金	238,916	247,692
長期前払費用	-	72,766
繰延税金資産	225	305
その他	5,347	6,070
投資その他の資産合計	244,489	326,835
固定資産合計	984,600	996,873
資産合計	57,850,926	59,105,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
顧客預り勘定	49,568,366	50,487,137
外国為替取引評価勘定	-	250,244
短期借入金	250,000	449,000
1年内返済予定の長期借入金	139,996	85,009
未払金	320,062	227,102
未払法人税等	698,464	137,788
繰延税金負債	14,408	-
ポイント引当金	24,880	52,914
その他	14,647	32,712
流動負債合計	51,030,826	51,721,909
固定負債		
長期借入金	50,010	-
資産除去債務	68,874	69,547
繰延税金負債	2,611	4,217
固定負債合計	121,495	73,764
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	-	0
特別法上の準備金合計	-	0
負債合計	51,152,321	51,795,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,224,005	1,224,005
資本剰余金		
資本準備金	1,129,005	1,129,005
その他資本剰余金	118,257	20,008
資本剰余金合計	1,247,262	1,149,013
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,237,851	4,947,561
利益剰余金合計	4,237,851	4,947,561
自己株式	△28,618	△29,123
株主資本合計	6,680,501	7,291,456
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,237	7,171
その他の包括利益累計額合計	7,237	7,171
新株予約権	10,866	10,866
純資産合計	6,698,604	7,309,494
負債純資産合計	57,850,926	59,105,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業収益		
トレーディング損益	3,558,244	4,090,636
その他の営業収益	3,284	6,171
営業収益計	3,561,529	4,096,808
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,947,957	2,260,015
営業利益	1,613,572	1,836,793
営業外収益		
受取利息	1,236	826
還付加算金	-	2,665
未払配当金除斥益	277	262
その他	595	558
営業外収益合計	2,110	4,313
営業外費用		
支払利息	5,217	3,409
支払手数料	-	1,414
創立費償却	1,462	592
その他	380	348
営業外費用合計	7,059	5,764
経常利益	1,608,622	1,835,342
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	1,608,622	1,835,341
法人税、住民税及び事業税	528,399	604,409
法人税等調整額	54,610	19,304
法人税等合計	583,010	623,713
四半期純利益	1,025,612	1,211,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,025,612	1,211,628

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,025,612	1,211,628
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,675	△65
その他の包括利益合計	3,675	△65
四半期包括利益	1,029,287	1,211,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,029,287	1,211,563

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

外国為替証拠金取引業関連以外の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

外国為替証拠金取引業関連以外の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。